

【資料3】

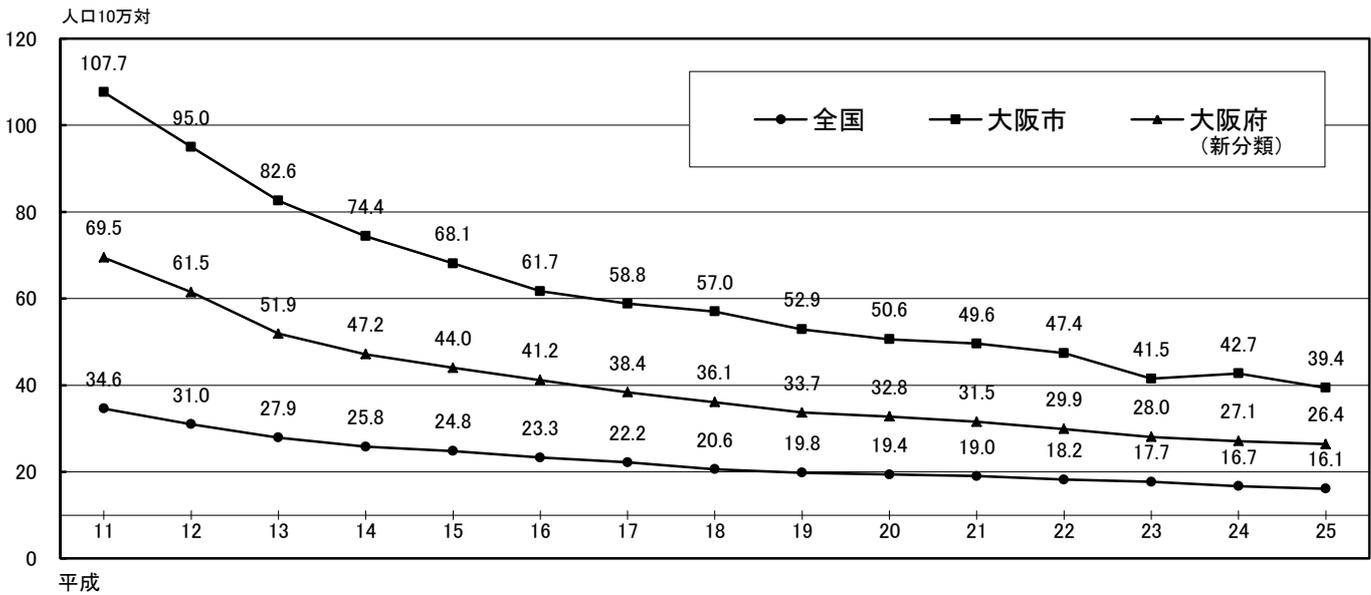
大阪市の結核2014（抜粋）

大阪市の結核 2014

平成25年結核登録者情報調査年報集計結果速報（抜粋）

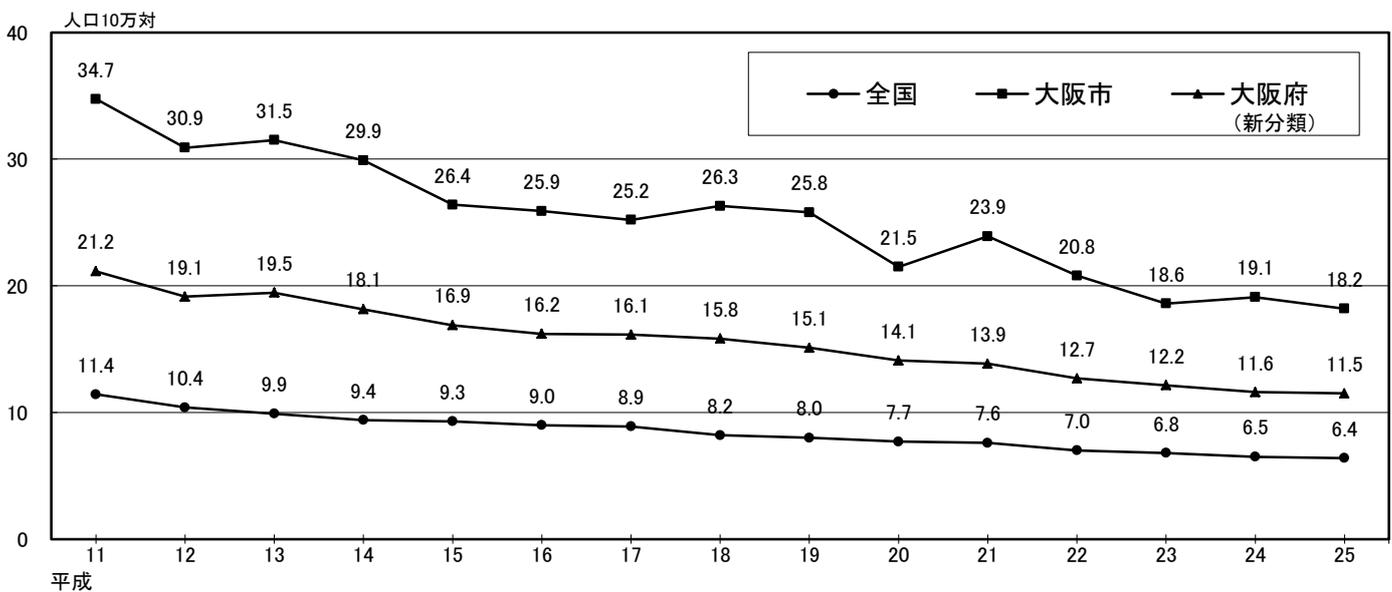
- 1 結核発生動向
- 2 患者発見
- 3 結核医療
- 4 コホート分析による治療評価
- 5 接触者健診
- 6 予防

1 結核罹患率の推移 平成11年～平成25年



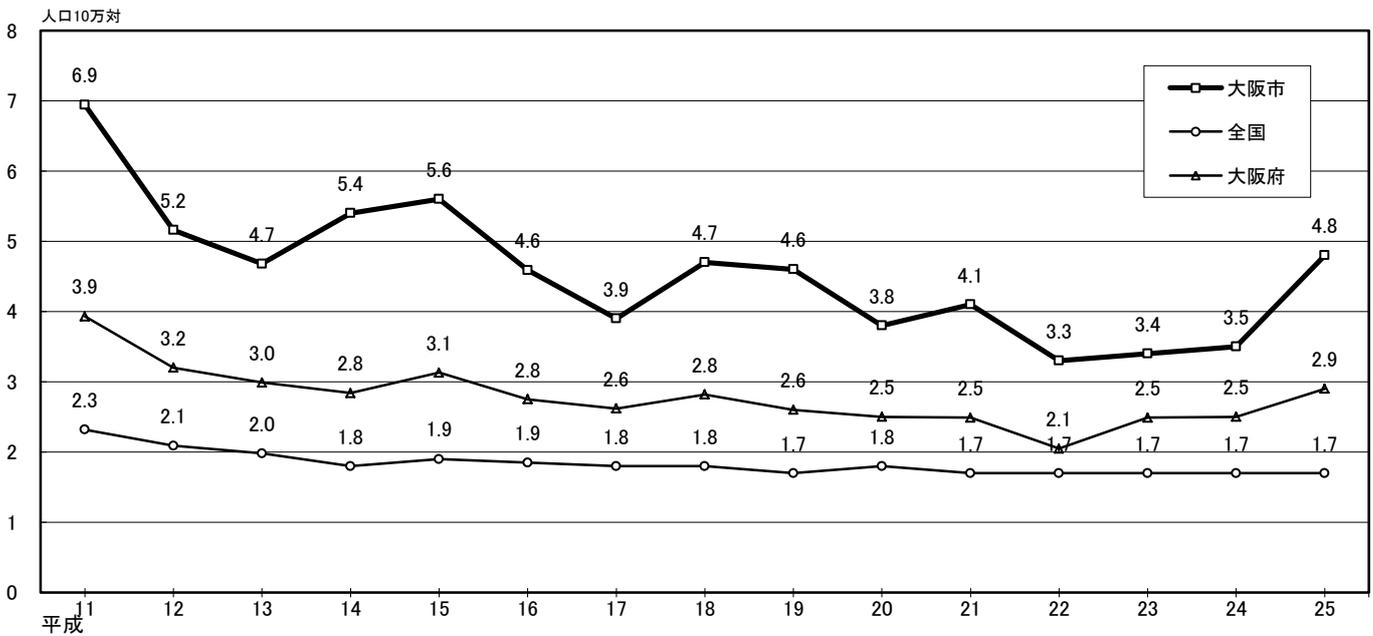
- 全国の結核罹患率は、平成11年の34.6から年々低下し、平成25年は16.1であり、減少率は53.5%であった。一方大阪市の罹患率は、平成11年107.7から平成25年39.4とはじめて40を下回り、減少率は63.4%であった。平成24～25年は、全国で3.6%、大阪市で7.7%の減少率であった。

2 喀痰塗抹陽性肺結核患者罹患率の推移 平成11年～平成25年



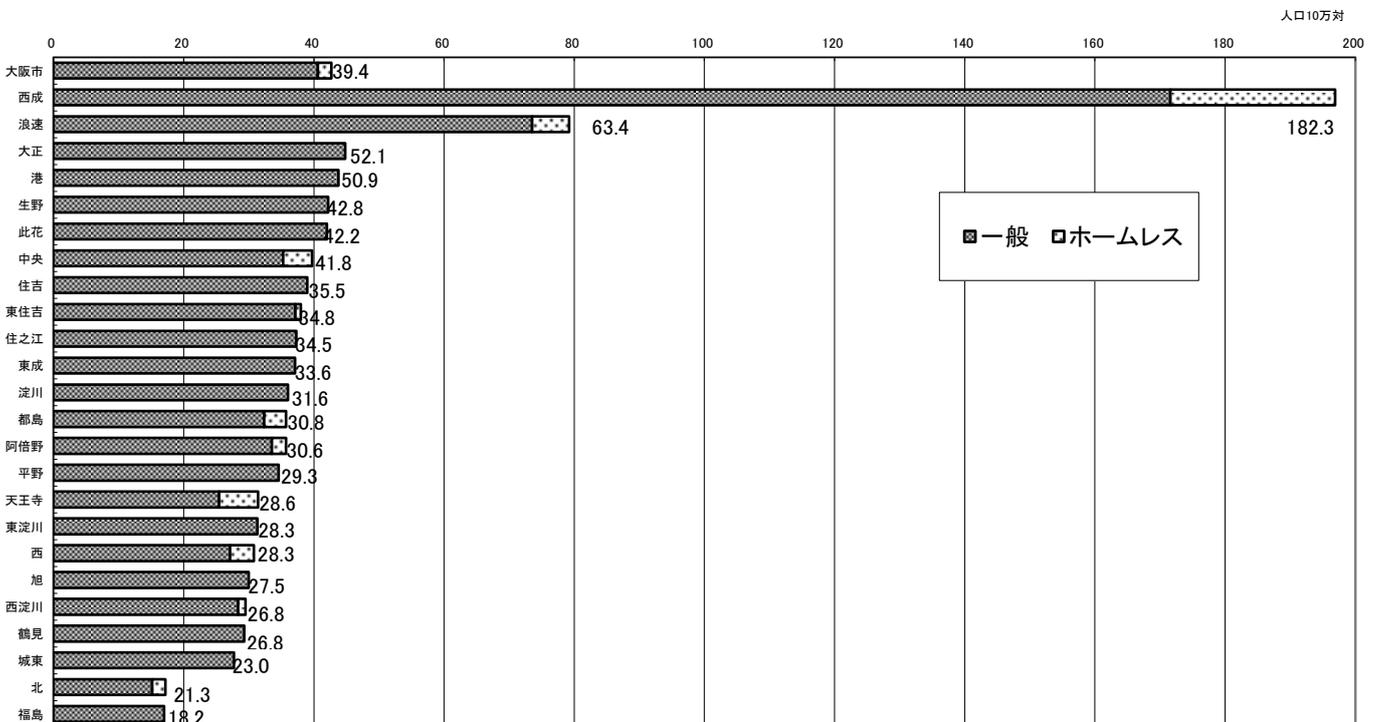
- 喀痰塗抹陽性肺結核患者の罹患率は、全国では平成11年11.4から平成25年6.4まで低下し、その間の減少率は43.9%であった。一方大阪市は、平成11年34.7から平成24年18.2まで低下しており、減少率は47.6%であった。

3 結核死亡率の推移 平成11年～平成25年



○ 死亡率は、全国は平成11年2.3から平成25年1.7に低下しており、ここ5年は横ばいであった。一方大阪府は平成11年6.9から平成25年4.8に低下していたが、平成22年以降は年々増加していた。

4 区別 結核罹患率(一般・ホームレス)(平成25年)



※ 年末時点での所在地等で集計している。他都市へ転出した患者については、転出直前の所在地等で集計している。

○ 24区別の罹患率では、平成24年西成区182.3と最も高かったが、昨年より減少していた。次いで浪速区が63.4と高かった。ホームレス患者は、大阪市全体では平成25年52名(4.9%)で、平成24年44名(3.9%)から増加した。

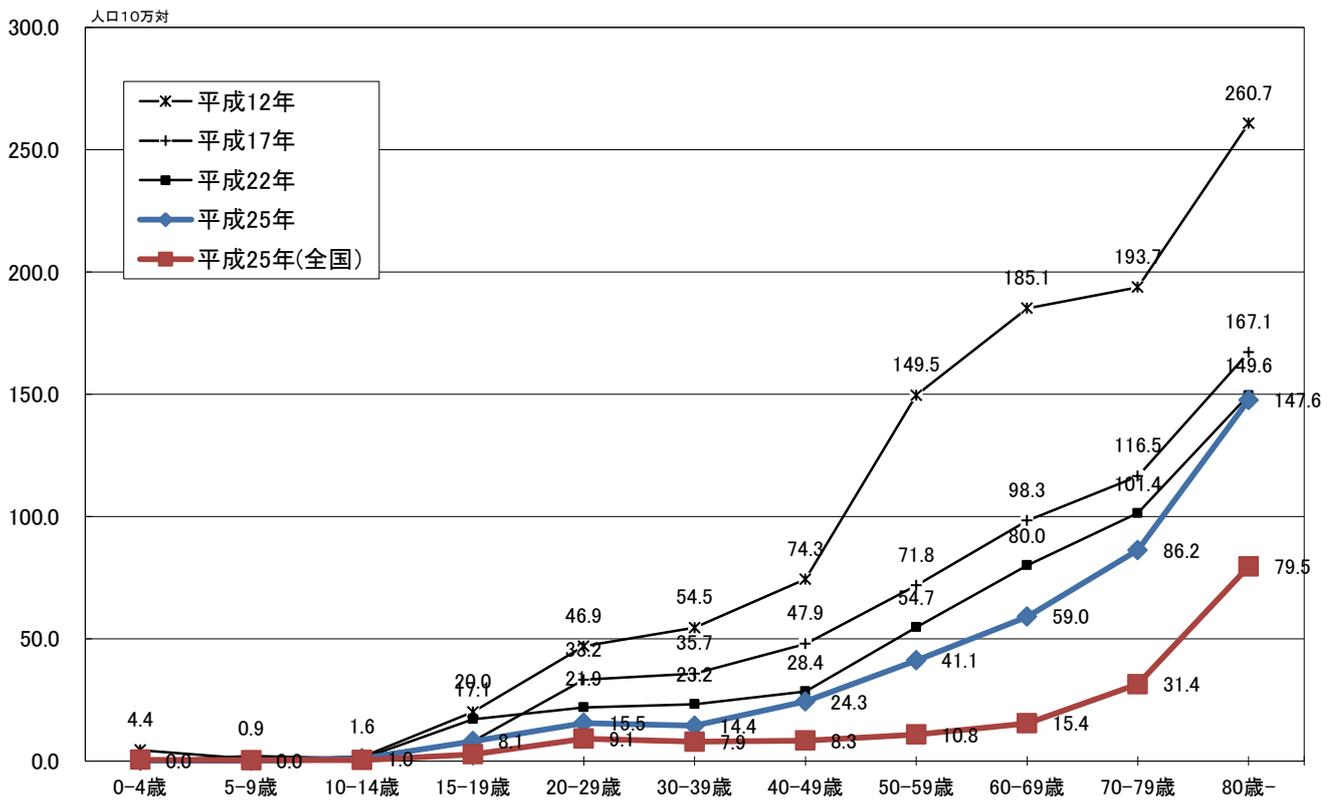
5 結核新登録患者数・罹患率（平成25年）

	H25.10.1現在 推計人口 (人)	新登録 患者数(人)	結核罹患率(人 口10万対)	喀痰塗抹陽性肺 結核患者数 (人)	
				喀痰塗抹陽性肺結核 患者数(人口10万対)	罹患率(人口10万対)
大阪市	2,683,487	1,058	39.4	488	18.2
北	117,543	25	21.3	12	10.2
都島	104,059	32	30.8	19	18.3
福島	71,367	13	18.2	4	5.6
此花	66,351	28	42.2	11	16.6
中央	86,032	36	41.8	12	13.9
西	88,307	25	28.3	10	11.3
港	82,593	42	50.9	13	15.7
大正	67,138	35	52.1	21	31.3
天王寺	73,443	21	28.6	8	10.9
浪速	66,246	42	63.4	23	34.7
西淀川	96,858	26	26.8	12	12.4
淀川	174,025	55	31.6	23	13.2
東淀川	176,450	50	28.3	28	15.9
東成	80,355	27	33.6	12	14.9
生野	130,720	56	42.8	21	16.1
旭	91,027	25	27.5	12	13.2
城東	164,904	38	23.0	10	6.1
鶴見	111,877	30	26.8	10	8.9
阿倍野	107,909	33	30.6	17	15.8
住之江	124,655	43	34.5	13	10.4
住吉	155,061	55	35.5	25	16.1
東住吉	129,168	45	34.8	22	17.0
平野	197,839	58	29.3	24	12.1
西成	119,560	218	182.3	126	105.4

6 一般・ホームレス別結核新登録患者数・罹患率（平成25年）

	新登録患者数(人)			罹患率(人口10万対)		ホームレス患 者の占める割 合(%)
	一般	ホームレス	全体	一般のみ	計	
大阪市	1,006	52	1,058	37.5	39.4	4.9
北	22	3	25	18.7	21.3	12.0
都島	29	3	32	27.9	30.8	9.4
福島	13	0	13	18.2	18.2	0.0
此花	28	0	28	42.2	42.2	0.0
中央	32	4	36	37.2	41.8	11.1
西	22	3	25	24.9	28.3	12.0
港	42	0	42	50.9	50.9	0.0
大正	35	0	35	52.1	52.1	0.0
天王寺	17	4	21	23.1	28.6	19.0
浪速	39	3	42	58.9	63.4	7.1
西淀川	25	1	26	25.8	26.8	3.8
淀川	55	0	55	31.6	31.6	0.0
東淀川	50	0	50	28.3	28.3	0.0
東成	27	0	27	33.6	33.6	0.0
生野	56	0	56	42.8	42.8	0.0
旭	25	0	25	27.5	27.5	0.0
城東	38	0	38	23.0	23.0	0.0
鶴見	30	0	30	26.8	26.8	0.0
阿倍野	31	2	33	28.7	30.6	6.1
住之江	43	0	43	34.5	34.5	0.0
住吉	55	0	55	35.5	35.5	0.0
東住吉	44	1	45	34.1	34.8	2.2
平野	58	0	58	29.3	29.3	0.0
西成	190	28	218	158.9	182.3	12.8

7 年齢階級別全結核罹患率の推移



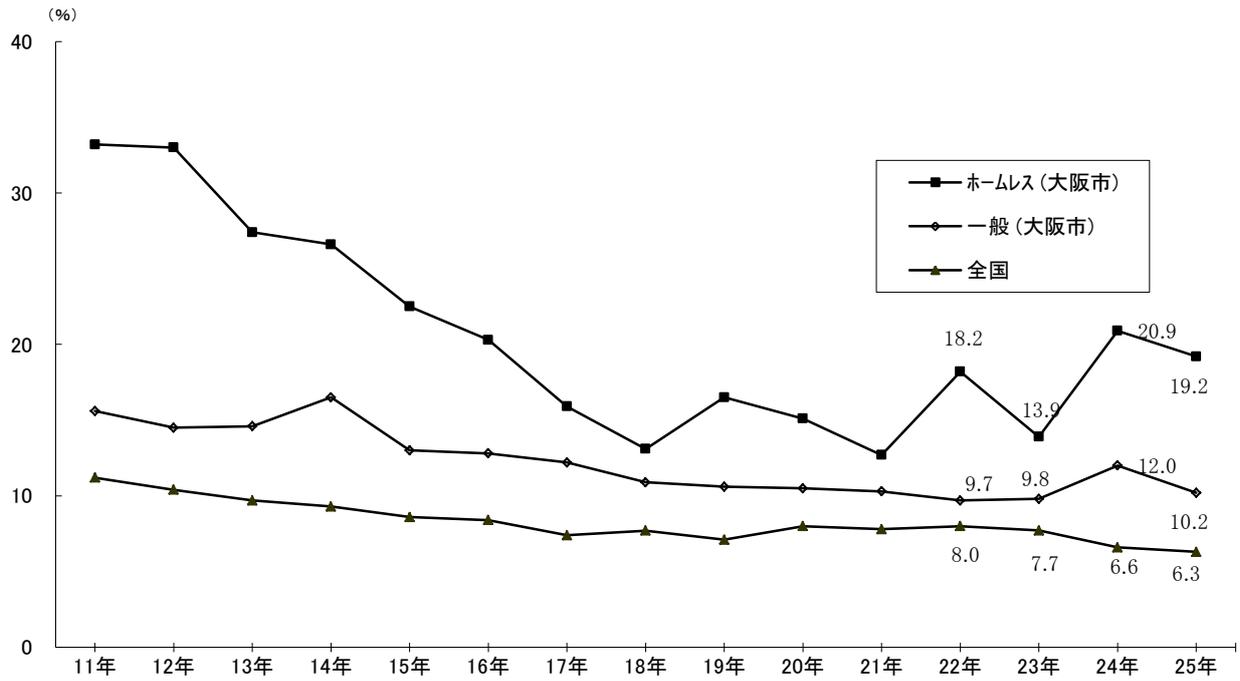
- 平成12年から25年にかけて、50代、60代の低下が特に目立ったが、80歳以上の高齢者における罹患率の減少は鈍化していた。全国と比較すると、特に50代、60代の罹患率が高く、いずれも3.8倍であった。

8 小児結核患者数の推移

年齢	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
0～4歳	0	1	0	1	1	0
5～9歳	1	1	2	0	0	0
10～14歳	1	0	1	0	1	1
計	2	2	3	1	2	1

- 小児結核患者は、平成25年は1名登録された。12歳男児（1Ⅲ2、塗抹陰性培養陽性）。咳・発熱を認め医療機関を受診し肺結核と診断された。家族など近親者に結核患者はなく、VNTR解析を実施したがDNA増幅不良であり、感染経路を推定することはできなかった。

9 一般・ホームレス別肺結核患者再治療割合の推移



○ 平成25年は、24年に比べ一般は12.0%から10.2%へ、ホームレスは20.9%から19.2%へといずれも減少した。

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
ホームレス(大阪市)	18/99	10/72	9/43	10/52
一般(大阪市)	96/990	89/910	110/918	89/874
全国	1,461/18,328	1,351/17,519	1,091/16,432	1,013/15,972

